

商店街活動研修事業

【事業の目的】

商店街活性化活動の促進や、商店街活性化を担う人材育成を目的とした研修プログラムです。

座学形式の講習やワークショップ、講師と受講者とのディスカッション、全国の商店街の取り組みについての事例研究などを通し、商店街活動に取り組む際に必要なノウハウとスキルの習得を行います。



【事業の特徴】

- ・全国 50 箇所×6 テーマ＝延べ 300 名の講師陣は、商店街活性化において自ら実績を残してきた「現場実践者」を中心に構成しました。
- ・座学やワークショップ、講師と受講者とのディスカッションなどを通し、商店街活性化に取り組むのに必要なノウハウとスキルを習得できます。
- ・全国の商店街における各種取り組みについての事例研究などを通し、受講者へのノウハウの普及と商店街連携の促進を目指します。

【各テーマの内容】

研修は下記 6 つのテーマにより、講義などがおこなわれました。

テーマ 1	地域商店街活性化法（新法）のポイント（事業計画作成のポイントなど）
テーマ 2	活性化の仕組みづくり（商店街の組織率向上と合意形成など）
テーマ 3	多様な連携による活性化（地域間連携・地域資源活用による魅力づくりなど）
テーマ 4	ソフト展開による活性化（地域おこし事業、イベント・ブランド化など）
テーマ 5	魅力ある商店街空間づくり（空き店舗対策や空間利用など）
テーマ 6	商店街を再生する気概を有するリーダーの心構え（リーダーとしての資質・考え方など）

【その他実施概要】

- ・研修対象者：商店街の活性化を担うリーダー層、青年部、女性部、おかみさん会、商店街の活性化を支援する方等
- ・実施地域：全国 50 箇所主要都市で開催
- ・開催日程：平成 21 年 10 月～22 年 2 月下旬
- ・費用：無料



ワークショップの様子

【事業の総評】

研修後提出してもらった受講者のアンケートによると、講師の話を参考に、新たな取り組みを進めようとの決意を持った人が多くみられました。

具体的には、

- 共通の意識を持った仲間をつくること
- 商店街の仲間や住民などと話し合い、コミュニケーションを取ること
- 熱意を持って、まずは実行すること。地域に貢献できる取り組みのハードとソフトを考えるなどでした。また、地域商店街活性化法を活用するために、事業計画作成に着手する、あるいは検討するという答えも多く、今後の各地での取り組みに期待したいと思います。

事業事例レポート 研修事例とその成果について、例をご紹介します。

三重県津市会場

どのような研修内容だったのでしょうか？

三重県津市の会場では、2日間にわたり、6人の講師の方々から6つのテーマについてレクチャーがありました。そのなかから、テーマ2の活性化の仕組みづくりの講義として、岡崎まちゼミの会・代表世話人の松井洋一郎氏が行われた講義の様をお知らせします。

研修概要

「商店街を活性化させるツボと仕組み」と題し、自身も化粧品店を経営する松井講師が、商店街・個店活性化活動として「岡崎まちゼミ」のノウハウについて講義を行いました。事業の立ち上げ当初の話から、現在に至るまでの取り組み、各店舗やお客様からの反応についてもお話しがありました。

松井講師はそのなかで、取り組みを支える参加店の勉強会や反省会、行政の支援など、表からは見えない地道な取り組みの重要性についても、熱く解説くださいました。



※注 まちゼミとは・・・

商店店主が自ら講師となり、自店の商品やサービスを消費者に対して講義する試み。例えば、韓国料理店がキムチ料理教室を、薬局が漢方薬教室を、ブティックがカラーコーディネート教室を実施します。店舗の認知度向上や販売促進、顧客との信頼関係が構築できるだけでなく、商品知識や接客技術の向上、商店街のチームワーク向上など、さまざまな効果が期待できる試みとして全国に広まりつつあります。

研修成果

これからの商店街は、「モノではなくコトを売る」、というところに受講者の多くが感心し、実際に取り組んでみたいという声もあがっていました。また研修終了後、受講者の商店街関係者や行政関係者などから、地域でのまちゼミの実施について講師への相談があい次ぎました。松井講師からのまちゼミ講義は、成功商店街のノウハウについて学び、ノウハウが受講者に普及し、商店街連携が進んだ事例といえます。

<概要>

期間：平成22年2月16日～17日の2日間
場所：アスト津 アストプラザ 第2または第3会議室
講師：6名（各テーマ1名）